



報 告 書

大会概要

RACE OUTLINE

大会名称

WHITE RIBBON RUN 2017

開催日

2017年3月4日(土)、3月5日(日)

主催

公益財団法人 ジョイセフ

共催

一般社団法人 東京臨海副都心まちづくり協議会

助成

IPPF(国際家族計画連盟)

後援

東京都、一般社団法人 日本家族計画協会、公益社団法人 日本産科婦人科学会、公益社団法人 日本産婦人科医会、公益社団法人 日本小児保健協会、公益社団法人 日本助産師会、公益社団法人 日本母性衛生学会、公益社団法人 母子保健推進会議、国連人口基金(UNFPA) 東京事務所、NPO法人 女性医療ネットワーク、一般財団法人 ベビー&バースフレンドリー財団

特別協賛

INSOU INSOUホールディングス株式会社

協賛

 葉酸サプリ110番 株式会社アドフルード

「ラクトフェリンラボ」サラヤ株式会社、パンドラ ジュエリージャパン株式会社、FCAジャパン株式会社、株式会社GMPインターナショナル、株式会社ヴェレダ・ジャパン、花王株式会社

物品協力

ロクシタンジャポン株式会社、INTEGRATE、アサイー&プロテイン、株式会社たかくら新産業、トートバッグ専門ブランド ROOTOTE

賞品協力

オラッヂエ「風の谷のビール」、株式会社タニタ

協力

一般社団法人 ランガール、東京臨海副都心グループ、TOKYOEDGE. Co., Ltd.、Dr.KAKUKO Sports Clinic

メディア協力

読売新聞社、毎日新聞社、J-WAVE 81.3FM、ヤフー株式会社、FM-FUJI

競技運営

株式会社 ルーツ・スポーツ・ジャパン

(以上 順不同)

東京臨海副都心まちびらき20周年 PORT & TOKYO

ごあいさつ

MESSAGE



妊娠・出産が原因で亡くなる女性たちは1日830人ですが、女性の命・健康に関する環境は悪化しています。世界各地で起きている紛争によって多くの女性たちが、生まれ、育った土地や家を奪われ家族と共に難民・避難民となっています。

また、米国のトランプ大統領は就任とほぼ同時に、海外の団体(NGO)が人工妊娠中絶に関する情報、相談、サービスなどをしている場合は、米国の資金援助を一切しないという大統領令に署名しました。この中には非合法の中絶によって命の危険にさらされている女性に対する治療も含まれます。目の前で死にかけている女性を助けることに資金援助が受けられなくなる、こんなことがあってよいのでしょうか。

WHITE RIBBON RUN 2017は、このような状況に対する「怒り」と、少しでもその状況が改善されるよう「祈り」と、そのために自らも行動するという「誓い」とともに実施しました。女性の命・健康を支援する輪は着実に広がっています。今年は世界15カ国から参加、国内外合わせて約1800人が、同じ大会Tシャツを着て走りました。世界中の女性たちが自分とその家族も含め、少しでも健康で命を守ることができるよう、そのために必要なエンパワーメントができますように。これからもみなさまとともにアクションを起こし続けていきたいと思います。

公益財団法人ジョイセフ代表理事 石井 澄江

参加賞とお土産

OFFICIAL T-SHIRTS



デザイン協賛

**REBIRTH
PROJECT**





有明・お台場メイン会場タイムテーブル

TIMETABLE

有明フロンティアビル内会場

ランナー受付 (~13:00)
場所: 4階 (受付・更衣室・手荷物)

ヘルストークセッション 「生理がおしえてくれること」

産婦人科医で、スポーツドクターの高尾美穂先生に、日々働く女性たちの声を多く聞いている照井窓日さんが質問して公開トークセッションを行いました。



Dr. 高尾 美穂



チャリティトークの様子

アフターイベント

初参加の梅宮アンナさんと SHELLYさんが登壇。お二人と一緒にチャリティトークをしました。



梅宮 アンナ

SHELLY

スペシャル抽選会

プレゼンター
堂珍 敦子さん、大葉ナナコさん

有明・お台場7kmランナーだけの特典で、WHITE RIBBON RUNを応援してくださる企業から豪華賞品が当たる抽選会を実施しました。



INSOU賞



AirBuggy賞



PANDORA賞



TANITA賞



Acai & Protein賞



オラッヂェ・HiPs賞



外エリア

11:00

12:00

12:15

バギーエクササイズ (1回40分)

簡単ストレッチ&バギーを使ったエクササイズ後、バギランをコースに実際に出て実施しました。



宮井 典子

ランナーの方は外ステージ前へ

12:50

オープニングセレモニー

外ステージ

ゲストランナー紹介ほか



堂珍 敦子



立野リカ



河内セリア

ウォーミングアップ
「ファイティングエクササイズ」
(13:10~)



山本 晃子

13:25

ランナー整列・全体写真撮影

13:30

14:30

7kmランスタート

スタート/ゴールエリア

Aウェーブ・Bウェーブ



土屋 アンナ

土屋アンナさんから応援メッセージが届き、スタート前にオンラインで配信しました。スタート地点では SHELLYさんがスタートラーを務め、ランナーへの励ましのエールを送りました。



15:10

16:00

16:30

ブース

ブース
オープン

会場クローズ
更衣室・手荷物預かりクローズ

ゲスト紹介

GUESTS

ゲストランナー



梅宮 アンナ
モデル・タレント



堂珍 敦子
モデル



立野 リカ
モデル



河内 セリア
モデル



大葉 ナナコ
パースコーディネーター



戸田 さと美
ウーマンライフプランナー



宇田川 佳子
一般社団法人ランガール代表



照井 窓日
Amazing Me 代表

バーチャルラン ゲストランナー



浅利 そのみ
フリーアンウンサー



大田原 透
Tarzan編集長



SHELLY
タレント



龜石 太夏匡
株式会社リバースプロジェクト
副代表

トークセッション



高尾 美穂
産婦人科医



山本 晃子
ファイティングエクササイズ
インストラクター



宮井 典子
協会認定バギーエクササイズ
インストラクター



株式会社
リバースプロジェクト

ヘルスヴィレッジ



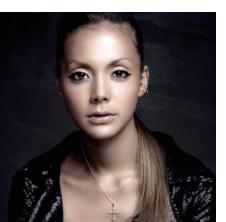
中村 格子
整形外科医



仁平 美香
女性のためのヨガ協会代表



今井 俊太
理学療法士



土屋 アンナ
歌手・モデル

7kmラン コースマップ

※1周目(赤)と2周目(青)で一部コースが異なります

国際展示場駅
スタート ゴール

パナソニックセンター東京
有明フロンティアビル
メイン会場

国際展示場正門駅
公衆トイレ

公衆トイレ

公衆トイレ

公衆トイレ

夢の大橋(ドリームブリッジ)
給水所

公衆トイレ

観覧車

青海駅
公衆トイレ

東京テレポート駅
公衆トイレ

ヴィーナスフォート

ダイバーシティ東京プラザ
折り返し

セントラル広場



ランナー参加者合計

RACE OUTLINE

7kmラン	547名
バーチャルラン	1109名
ゲスト	15名
海外	165名
ボランティアスタッフ	59名
合計	1895名



7kmラン参加者居住地

1	東京都	337
2	神奈川県	89
3	千葉県	46
4	埼玉県	41
5	静岡県	10
6	茨城県	8
7	栃木県	6
8	長野県	4
9	群馬県	2
10	山梨県	1
11	福岡県	1
12	兵庫県	1
13	北海道	1

バーチャルラン参加者居住地

大阪府	239
徳島県	141
熊本県	109
山梨県	86
東京都	84
静岡県	72
兵庫県	46
秋田県	42
宮城県	35
神奈川県	29
福岡県	29
新潟県	27
高知県	18

バーチャル拠点

埼玉県	16
沖縄県	14
三重県	14
千葉県	14
愛知県	14
和歌山県	13
岡山県	9
栃木県	8
奈良県	6
香川県	5
石川県	5
長野県	5
北海道	5
京都府	4
愛媛県	3
茨城県	3
福島県	3
群馬県	2
広島県	2
滋賀県	2
鹿児島県	2
岐阜県	1
佐賀県	1
鳥取県	1



全国バーチャルラン拠点紹介

LOCATIONS FOR VIRTUAL RUN

全国バーチャルラン拠点
12ヶ所で開催



⑪ 福岡県春日市

事務局：①福岡県男女共同参画センターあすばる
②Mellicore（メリコア）



⑫ 熊本県熊本市

事務局：熊本市男女共同参画センターはあもにい



⑦ 大阪府大阪市

事務局：ジョイセフフレンズ大阪



⑨ 徳島県徳島市

事務局：ホワイトリボンラン徳島



⑩ 高知県高知市

事務局：ホワイトリボンラン高知



① 秋田県秋田市

事務局：Good Morning RUN in AKITA



② 宮城県仙台市

事務局：ママとシネマ運営委員会（担当：眞野）



③ 新潟県長岡市

事務局：ホワイトリボン新潟（担当：佐竹）



④ 山梨県甲府市

事務局：①SUNDAY ②道がまっすぐ



⑤ 静岡県三島市

事務局：HiPs（担当：和泉・大橋）



⑥ 三重県津市

事務局：三重県男女共同参画センターフレンテみえ



来年（2018年）、バーチャルランで盛り上げてくれる拠点を募集します！



2018年3月の国際女性デー前に開催予定のホワイトリボンラン2018は、ジョイセフ設立50周年と兼ねて、日本全国でバーチャルラン50拠点を目指し、バーチャルランナーの拡充をはかります。バーチャルラン拠点の事務局をやってみたいという方、ホワイトリボンラン事務局（電話 03-3268-5875 wrun@joicfp.or.jp : 山根、畠地）までお問い合わせください。バーチャルラン拠点事務局の公募は2017年4月より開始予定です。

世界各地で広がったバーチャルラン



IPPF International Planned Parenthood Federation

① London, UNITED KINGDOM
International Planned Parenthood Federation



② Kwahu East, GHANA
Kwahu East District Health Administration



③ Masaiti, ZAMBIA
Planned Parenthood Association of Zambia



④ Nairobi, KENYA
Family Health Options Kenya



⑤ Damascus, SYRIA
Syrian Family Planning Association



⑥ Aleppo, SYRIA
Syrian Family Planning Association



⑦ Kathmandu, NEPAL
Family Planning Association of Nepal



⑧ Nay Pyi Taw, MYANMAR
Ministry of Health and Sports, Myanmar



⑨ Phnom Penh, CAMBODIA
Reproductive Health Association of Cambodia



⑩ Hue, VIETNAM
Vietnamese Association for Midwives



⑪ Subang Jaya, MALAYSIA
Federation of Reproductive Health Associations Malaysia



⑫ Sarawak, MALAYSIA
Federation of Reproductive Health Associations Malaysia



⑬ Jakarta, INDONESIA
Indonesian Planned Parenthood Association



⑭ Beijing, CHINA
China Family Planning Association



⑮ Seoul, KOREA
Korea Population Health and Welfare Association



⑯ Seattle, UNITED STATES



メディア掲載

MEDIA

雑誌



Geen 2月号
2017年1月25日

GINGER 2月号
2016年12月23日

HB Spring
2017年2月27日

TOKYO SEASIDE STORY 1月号
2016年12月25日

ターザン 4月 27 日号
2017年4月6日

ラジオ・イベント・TV



【ラジオ】J-WAVE 83.1FM
「ジョン・カビラのJK RADIO ~TOKYO UNITED~」
2017年1月20日



【ラジオ】FM FUJI
「EVENING RUSH」
2017年1月23日



【TV】AbemaTV (アベマ TV)
2017年3月17日



【イベント】読売新聞女性とスポーツ
2017年1月25日



【TV】NHK 四国
2017年3月4日



【TV】NHK 徳島
2017年3月6日

WEBサイト



YAHOO! JAPAN スマホ版トップ
2017年1月27日



ELLE ONLINE
2017年1月24日



25ANS
2017年1月24日



NIPPON SHIMBUN
毎日新聞
2017年1月22日



東京都報道発表
2016年12月19日



HOKKAIDO SHIMBUN ONLINE
河北新報オンラインニュース
2017年2月23日



AUTUMN ECONOMIC NEWS
秋田経済新聞
2017年2月28日



FIAT CULTURE MAGAZINE
2017年3月16日



MAMAPLA (ママプラ)
2017年4月10日



MAMAPLA (ママプラ)
2017年4月17日



MAMAS & CINEMA 実行委員会
2016年12月1日



VELERA JAPAN NEWS
2017年3月15日



SPORTS ONE
2016年10月10日



RUNNET
2016年10月10日



SPORTS ENTRY
2016年10月10日



ODESHIN NEWS 24
2017年3月5日



International Women's Day 2017
2017年3月11日

新聞



毎日新聞 2017年1月22日



静岡新聞 2017年3月5日



秋田魁新報 2017年3月6日



毎日新聞 (福岡) 2017年3月6日



毎日新聞 (大阪) 2017年3月6日



毎日新聞 (熊本) 2017年3月6日



毎日新聞 (熊本) 2017年3月6日



くまにちあれんじ 2017年4月15日

チャリティについて

CHARITY

WHITE RIBBON RUN 2017で走るランナーのエントリー費全額がジョイセフを通じ下記の活動に活かされます。



ネパールの女の子の安全を確保する

ネパールでは未婚の若い女性が、自分の身体や健康に関する正しい知識を得る機会はありません。もともと男尊女卑の考え方方が地域に根強く残っている上に、生理不浄の因習、望まない妊娠や出産の安全でない中絶、ジェンダーに基づく暴力、人身売買なども深刻な社会問題です。また、2015年に大地震が発生以降、ジェンダーに基づく暴力、人身売買が増えているため、若い女性が騙されずに自分たちを守るために知識やリテラシーをつけるための支援活動が急務です。この大会による寄付でピア・エデュケーターを20名育成します。彼らが学校やユースセンターで、セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルスをはじめとする正しい知識の普及をし、女の子たちが自分自身を守るための講座を実施します。



ミャンマーで妊娠・出産する女性の命を守る

ミャンマーでは妊娠・出産・中絶が原因で亡くなる女性が日本の36倍(※)と、妊娠婦死亡率の割合が高い状況です。ミャンマーの妊娠婦死亡のほとんどが農村地域の自宅で起きています。特に、デルタ地帯に広がる農村地域は、河川が多いために、病院への妊婦の搬送、出産の際に助産師や医師による立会いが難しく、多くの妊娠婦の命が危険にさらされています。大会による寄付で、エヤワディ地域チャウンゴンタウンシップで、産前・産後と育児中の女性をサポートする母子保健推進員(ジョイセフの研修を受けたボランティア)1200人の再研修を行います。母子保健推進員のスキルアップをすることで、ひとりでも多くの妊娠婦が専門技能者による産前・産後健診を受け、立会いのもとでの出産ができるようにします。



タンザニアで思春期の女の子たちを守る

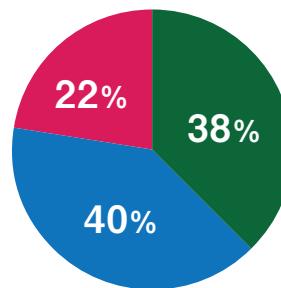
タンザニアのシニヤンガ州キシャブ県周辺はダイアモンドの鉱山があり、労働者など人口の出入りが激しい地域です。日銭を得た労働者による買春で、望まない妊娠をして学校を退学、また父親が誰か分からぬまま、シングルマザーにならざるを得ない女の子たちも少なくありません。さらに、HIV/エイズの感染率も高く、エイズ孤児も依然として多いです。大会による寄付で、ジョイセフはこの地域で活動しているピア・エデュケーター25名に対し再研修を行います。彼らがコミュニティや学校で実施する啓発活動や、それにともなう交通費などの経費にも使われます。

※ Trends in Maternal Mortality: 1990 to 2015 / WHO, UNICEF, UNFPA, World Bank Group and the UN Population Division

WHITE RIBBON RUN 2017 エントリー費(全額寄付)の内訳

エントリー費と寄附

5kmラン(5500円)	2,517,000円
バーチャルラン(2500円)	2,677,500円
寄附金	1,500,000円
	6,694,500円



寄附先(内訳)

ネパール	2,694,500円
ミャンマー	2,000,000円
タンザニア	2,000,000円
	6,694,500円

